

文楽と歌舞伎の違いを感じ取り、文楽のよさを味わおう

3年 組 番 氏名

1. 歌舞伎と文楽の特徴を比較しよう

☆歌舞伎の特徴を思い出そう

<p>音楽</p>	<p>演技・役者</p>
------------------	---------------------

☆文楽の特徴は何だろう

<p>音楽</p>	<p>演技・役者</p>
------------------	---------------------

2. 『義経千本桜』 二段目 大物浦の段 ……のストーリーを知ろう

《主な登場人物》
 平 知盛(たいらのとももの) → 平清盛の息子：安徳天皇を守り、源義経を狙っている
 典侍局(すけのつぼね) → 安徳天皇の乳母：知盛とともに安徳天皇を守っている
 安徳天皇(あんとくてんのう) → 平清盛の孫にあたる幼い天皇
 源義経 → 源頼朝の弟。頼朝に追われている。武蔵坊弁慶 → 義経の忠実な家来

《ストーリー》
 大物浦で義経を討とうとした知盛であったが、逆に不利な状況になり、安徳天皇の身柄を義経に確保されてしまう。自分がいて天皇が不利になってはいけなと、典侍局は自ら命を絶ち、知盛も覚悟を決めて、天皇の身を義経に託し、「いかり」を体に巻きつけて大岩から海に身を投げる。

3. 同じ場面での音楽の違いはどんなところだろう

	歌舞伎	文楽
あ		
☆太夫(歌舞伎は役者の声も)・三味線・打ち物などの太鼓がどのように演奏しているか注目しよう！		
い		
☆なぜ、歌舞伎と文楽の音楽にこのような違いが出るのか考えてみよう！		
う		

4. 文楽の魅力は何だろうか？ 3での比較に注目して自分の考えをまとめよう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

(9) 3年鑑賞 「文楽」を教材としたと日本の伝統音楽の鑑賞の指導展開例

題材 文楽と歌舞伎の違いを感じ取り、文楽の魅力を味わおう
 教材 文楽 「義経千本桜」から 二段め 大物浦の段（2・3下 P36～37）
 歌舞伎「義経千本桜」から 二場 大物浦の場

本題材で扱う学習指導要領の内容

B 鑑賞ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。

鑑賞イ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術を関連付けて理解して、鑑賞すること。

〔共通事項〕音色（太夫の声や三味線の音色）、速度（太夫の語りや三味線の速度）、テクスチャ、強弱

題材の目標

- (1) 文楽や文楽と歌舞伎の表現の違いに関心を持ち、文楽の音楽的な特徴を理解して鑑賞することに主体的に取り組む。
- (2) 太夫の声の音色や義太夫節の抑揚、三味線との重なり方などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、解釈したり価値を考えたりし、背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴く。

題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
①文楽と歌舞伎を比較し、舞台表現や音楽の違いに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ②文楽の音楽の特徴に関心を持ち、文楽のよさや美しさを主体的に味わおうとしている。	太夫の声の音色や義太夫節の抑揚、三味線との重なり方などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、解釈したり価値を考えたりし、背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

題材の展開例（2時間扱い）

時	○主な学習内容 ・活動	○評価 ◆評価方法
1	○既習の歌舞伎と文楽を比較鑑賞し、舞台や音楽の特徴の違いについて知る。 ・「義経千本桜（部分）」を歌舞伎と文楽で比較鑑賞し、歌舞伎と文楽との舞台演出上の共通点と違いを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 歌舞伎：音楽（太夫・三味線・打ち物）演出（役者→メイク・演技・見得等） ☆細棹 文楽：音楽（太夫・三味線・打ち物）演出（人形→人形遣い、舞台） ☆太棹 </div> ○登場人物とあらすじを理解する。 ・DVD を用いて「義経千本桜」大物浦一の登場人物とあらすじを確認する。	①文楽と歌舞伎を比較し、舞台表現や音楽の違いに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ◆観察 ◆ワークシートの記述

- 2 ○文楽と歌舞伎の音楽表現を比較し、知覚・感受する。
- ・音楽に注目して一度「さらば～」部分をDVD鑑賞する。
 - ・画面を消して、音楽を比較する。歌舞伎→文楽
 - ・一度おおまかに比較した後、意見交流し、さらに太夫、三味線、打ち物に注目して比較し、ワークシートに記入する。
(ワークシート③あ、い)

【学習課題】文楽と歌舞伎の音楽はなぜ違うのだろうか

- 文楽と歌舞伎の舞台表現の違いから、音楽表現の違う理由について追究する。
- ・歌舞伎→文楽の順で画面を見ながら特徴を確認し、「さらば～」を鑑賞する。(ワークシート③う)
 - ・音楽表現の違いについて発表し合う。
 - ・再度音楽のみで「名は引く汐～」から比較し、音楽表現の違いを共有する。
- 改めて文楽を映像とともに視聴し、音楽表現の特徴について意識しながら味わって鑑賞する。
- ・文楽ならではの音楽表現の特徴や、演出と文楽の関わりについて、批評文にまとめる。
 - ・批評文を全体で交流し、文楽の魅力について話し合う。
- 背景となる文化・歴史を踏まえて、文楽を鑑賞する。
- ・能からの影響や、歌舞伎の演目との関わりについて知る。
 - ・文楽の歴史的な背景を踏まえて、もう一度文楽「さらば～」から鑑賞する。

②文楽の音楽の特徴に関心をもち、文楽のよさや美しさを主体的に味わおうとしている。

◆観察

◆ワークシートの記述

③太夫の声の音色や義太夫節の抑揚、三味線との重なり方などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり価値を考えたりし、背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

◆ワークシートの記述

文楽と歌舞伎の違いを感じ取り、文楽のよさを味わおう

3年 組 番 氏名

㊦ それぞれに妥当な記述があればBとする。

①歌舞伎と文楽の特徴を比較しよう

☆歌舞伎の特徴を思いだそう

音楽

三味線・太夫の語り・長唄・下座音楽（打ち物・囃子）→三味線は細棹

演技・役者

見得・台詞・隈取り・舞踊

☆文楽の特徴は何だろう

音楽

三味線・太夫の語り（台詞もストーリーも全て）・打ち物 →三味線は太棹

演技・役者

役者はいない・人形が演技（人形遣いによる）

②「義経千本桜」二段め 大物浦の段・・・のストーリーを知ろう

《主な登場人物》

平 知盛（たいらのとももり）→平清盛の息子：安徳天皇を守り、源義経をねらっている。
 典侍の局（すけのつぼね） →安徳天皇の乳母：知盛とともに安徳天皇を守っている
 安徳天皇（あんとくてんのう）→平清盛の孫にあたる幼い天皇
 源 義経→源頼朝の弟。頼朝に追われている。 武蔵坊弁慶→義経の忠実な家来

《ストーリー》

大物浦で義経を討とうとした知盛であったが、逆に不利な状況になり、安徳天皇の身柄を義経に確保されてしまう。自分がいて天皇が不利な状況になっては典侍の局は自ら命を絶ち、知盛も覚悟を決めて天皇の身を義経に託し、『いかり』を体に巻き付けて大岩から海に身を投げる。

㊦ それぞれに妥当な記述があればBとする。「う」は、鑑賞の能力で評価することも可能である。

③同じ場面での音楽の違いはどんなところだろう

	歌舞伎	文楽
あ	空白の時間が長い 三味線も途切れ途切れ	太夫がずっと歌っている。 三味線もずっと弾いている。
☆太夫（歌舞伎は役者の声も）・三味線・打ち物などの太鼓がどのように演奏しているか注目しよう！☆		
い	太鼓がずっと鳴り響いていて、不気味な感じ。 三味線や太夫・役者の声が途切れ途切れで、緊張感がある。	太夫が色々な声で、大きさや速さなどを自由に変えながらメリハリのある歌い方をしている。登場人物の気持ちが直接的に表現されているようだった。
☆なぜ、歌舞伎と文楽の音楽にこのような違いが出るのか考えてみよう！☆		
う	文楽は人形で演じられているので、見ている人が太夫の語りを頼りに、登場人物の感情を想像しながら鑑賞するのだと思う。だから太夫の語りは声の音色、速さ、大きさをたくみに変えながら表情豊かに表現している。	

④文楽の魅力はなんだろう？ ③での比較に注目して自分の考えをまとめよう。

役者が見得をきったり、せりふを言ったりする歌舞伎に比べ、音もなく人形が動き演技をする文楽は、知盛が海に沈んでいく場面の悲しさが静かにひしひしと伝わる感じがした。音楽の面では、太夫や三味線の速度や音色にメリハリがあるので、知盛の悲しさや切なさが、激しく心に響いてくると思った。舞台上の静けさと情熱的な音楽の両方が文楽の魅力だと思う。

㊦ 演出の違い、音楽的の二つについて、知覚、感受したことが整合してまとめられていればB、さらに、記述が豊かだったり、具体的な価値判断が書かれていればAとする。